

声をあげよう！ 仲間を広げよう！ 人間らしく働く権利の確立をめざして！

パート・非常勤部会ニュース No. 5

大阪市北区錦町2-2 国会会館1F 大阪労連パート・非常勤部会

2010・2・24

2・12中央行動に13名が参加



雪がちらつく中、池袋早朝宣伝



日比谷野外音楽堂の中央集会

2月12日の中央行動での非正規労働者行動に、パート・非常勤部会から13名が参加をしました。前泊組は12名で、早朝の池袋駅宣伝から参加し、大阪から4名がマイクを握りました。「池袋での発言は気持ち良かった」との声も… 全体で70名がティッシュ2000個を配布しました。1時間の宣伝後、最低賃金での国会議員要請と厚生労働省交渉に分かれ、行動しました。

議員要請行動

「パートで働いていて生活が苦しい。最賃を引き上げてほしい」と訴えて、2人ペアで行動し、初めて参加した人もいました。秘書対応が多い中、共産党の宮本議員は在室で、「議員にどんどん言わないとすすまない。民主党にも圧力をかけないと変わらない」と言われました。

厚生労働省交渉

パート労働法・有期雇用契約・最低賃金で交渉を行いました。厚生労働省は係長補佐、他はすべて係員という対応の仕方で、まともに答えることができませんでした。

参加は20人程度。「昨年夏の女性差別撤廃委員会『男女賃金格差の原因は、改正パート労働法の対象者が少ないことにあるのではないか』という委員質問に対して、政府は『改正パート法の対象は4～5%いる』と答えている。しかし、昨年8条違反（差別禁止）で指導した企業は全国でたった7件。毎日勤労統計では、パー



ト・アルバイトは1,200万人とされ、その4～5%でも50～60万人が差別禁止となるはずだが、この人たちは改正パート法で救えているのか」と問うと、「4～5%という数字は、平成13年の21世紀職業財団が調査したデータに基づくもの。現時点でどれくらいか、わからない」と答えたので、「実態の調査を行うべきだ」と言う、「改正パート法が3年で見直しの必要があれば実態調査を行う。法改正がどうなるか、現時点で答えられない」と回答しました。また、「男女差別賃金問題とパート法は無関係」とも述べました。公務・自治体関連の非常勤職員へのパート法の適用拡大も要請しました。「公務非常勤は国公法、地公法で勤務が定められ、パート法になじまない」と回答し、「国会答弁で公務員部長が『パート法の考え方は実態から公務非常勤も潜脱してはいけない』と答えている。そんな認識では困る。」と強い抗議が行われました。係長補佐は「実態を聞きたい」と述べ、「何年働いても賃金が上がらず、雇用不安にさらされている」「『人材活用の仕組み(異動)が違うので、8条該当パートはいない』と言われている。」「事業所の統廃合で、勤務時間が1日3時間、しかし3～4時間かけて通勤しているパートがいる。」「子どもをかかえ、生活保護を受けているパートもいる」「福祉職場はフルタイムパートなのでパート法適用者はいない」など実態が出されました。

最低賃金についても「今の最低賃金額は法律に違反している。なぜ低い最低賃金のままなのか、私たちにわかるように説明をして欲しい」「最賃委員に立候補し、毎年落とされている。合理的理由と納得できる選出基準を」等の発言が続きましたが、無言のままでした。



国会請願パレード

要求・運動の提起が行われました。参加者交流では大阪からケーブル工業の寺坂さんと、枚方非常勤裁判の端野さんから発言がありました。端野さんは「一時金・退職金の返還請求が争われている枚方非常勤裁判が自治体非常勤に与える影響は大きい。来年、良い報告ができるよう頑張ります」と発言。寺坂さんは「昨年7月、大阪地裁において、地位保全の仮処分決定が出、解雇無効が認められましたが、会社側の起訴命令を受け、本裁判が始まりました。会社側は団体交渉を拒否、職場復帰も認めず、金銭解決を主張し続けました。昨年12月、和解進行協議を開始し、裁判官は社長が裁判所に出頭することを要請し、2月8日、裁判官の提示額に近い額で合意、全員の解雇撤回などの条項を確認しました。職場復帰はかないませんでした。満額に近い回答で勝利しました。組合の力がなければできなかった闘いをしたことを実感しています。何も知らずに裁判を始めた私たちですが、パートだから、女性だからといって簡単に解雇できないということを会社や地域に知らしめたという気がします。最後に、派遣、パートを問わず、労働者がみな等しく、その働く権利が守られることを願います」と発言しました。

院内集会

午後3時30分から約1時間、「均等待遇実現するための院内集会」が開かれ、約110人が参加し、会場は座り込む人もでるほど満員でした。久しぶりに開かれた院内集会、元パート議員連盟の議員に要請しましたが、落選や退任、返事も返ってこない議員がいるなど、ほとんど壊滅状態とのことで、社民党、国民新党にも要請しましたが、出席は日本共産党の高橋ちづ子議員だけでした。井筒百子パート・臨時労組連絡会事務局長より

パート法改正、有期労働契約制限のうごきと要求